

# 成瀬の風

東成瀬村立東成瀬中学校

学校報：# 2

発行：令和3年4月8日(木)



## 第77回 入学式

☆ 4月6日、28名の新入生を迎え、令和3年度、全校生徒51名の東中メンバーが勢揃いしました。みんなで力を合わせてがんばっていきます。

### 校長式辞

明るさを増す太陽の光を受け、鮮やかに輝く栗駒の山々。雪解け水のきらめく成瀬川。万物が美しく躍動する、この春の佳き日、東成瀬村村長佐々木哲男様、村議会議長富田義行様、PTA会長鈴木勇人様、そして保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに令和3年度の入学式を挙行することができますことに、心より感謝申し上げます。皆様のご支援を受け、本校は77年目の新たな一步を踏み出したところでもあります。今後とも変わらぬご支援をいただきますようお願い申し上げます。

さて、28名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。こうして新しい制服を着て、緊張しながらも堂々と座り、きちんと話を聞いている姿は、とても立派で頼もしく感じられます。

皆さん、中学生になった心境はいかがですか。これから経験する中学校生活は、小学校の半分、わずか3年間です。小学校での経験をもとにして、一日一日を大切に、一步一步、前に進んでほしいと思います。

中国の古いことわざ「少年老いやすく学成り難し、一寸の光陰軽んずべからず」というものがあります。「若いうちはまだ先があると思って勉強に必死になれないが、すぐに年月が過ぎて年をとり、何も学べないで終わってしまう。だから若いうちから勉学に励まなければならない。」という意味です。

希望に燃え、これから成長しようとする皆さんに、このことわざは実感として受け止めにくいと思います。しかし、大昔の学者が生きること、成長することについて残した言葉を、心の片隅に留めておいてほしいと思います。

そして、皆さんが中学生としてがんばっていくために、私たち教職員はあらゆる手助けを惜しみません。また、先輩である、2年生、3年生も、自分たちの経験をもとにして、きっと温かく応援してくれます。皆さんが東成瀬中学校の輝かしい伝統を受け継いでいけるように努力することを期待しています。

保護者の皆様、皆様にとってかけがえのない大切なお子様方28名を、本日確かにお預かりいたしました。本校の教職員全員、全力を挙げて、お子様方の成長のために力を尽くして参ります。

また、今後、世の中は予測困難・先行き不透明な社会に向かっていくため、学校と家庭、地域が同じ方向を目指し、協力していくことが何よりも大切であると言われていきます。お子様の教育に関わる悩みや疑問をどうか遠慮なく、私たちに伝えていただきますようお願いいたします。

日本一美しく、日本一優しく、日本一教育熱心な東成瀬村。この素晴らしい地域の皆様、そして卒業生の方々も、必ず応援してくださると思います。

結びに、この成瀬の丘に建つ学び舎に、新入生の皆さんが、時にはその日の生活に思いをさせ、時には友と語り合いながら、一步一步踏みしめて登り、心と体を鍛え、成長していくことを期待して式辞といたします。



令和3年4月6日 東成瀬村立東成瀬中学校長 伊藤 秀樹